

# 第1章 メコン河流域の豊かさとは？

## 1-1 メコン河の自然環境

### メコン河流域の自然環境

メコン河は、チベット高原からメコンデルタを通り、南シナ海に流れ込む国際河川で、アマゾン河流域に次ぐ世界第2位の水生生物の多様性を誇る（Peterson and Middleton 2010）。魚は約850種、そのほか、2万種の植物、430種の動物、1,200種の鳥類、800種の爬（は）虫類と両生類も生息している（Thompson 2008）。流域面積は、日本の国土（37万7,947km<sup>2</sup>）の二倍を上回る79万5,000km<sup>2</sup>で、全長は4,909kmにも及ぶ（MRC 2000: 5）。源流から河口まで距離の短い日本の河川と比べて、長距離を流れ、源流部分を除くと上流と河口での高度差が少ないという特徴を持つ（国土交通省2006、国土交通省関東整備局利根川統合管理事務所）。メコン河は、中国（青海省、雲南省）、ビルマ／ミャンマー、ラオス、タイ、カンボジア、ベトナムの6か国を通過して海に達するが、上流部の中国では、同じく世界的な大河、長江と怒江（サルウィン河）の源流が近接して流れ、その地形は「三江併流」と称される。メコン河は、その後、ラオス国内に入り、ラオス国境とビルマ、ラオス国境とタイからカンボジアに流れ込み、同国を象徴するトンレサップ湖ともつながり、ベトナムに入ると「九龍」と呼ばれ、世界最大の米の生産地のひとつであるメコンデルタを形成し、最後は、南シナ海に注いでいる。



図1 メコン河と流域

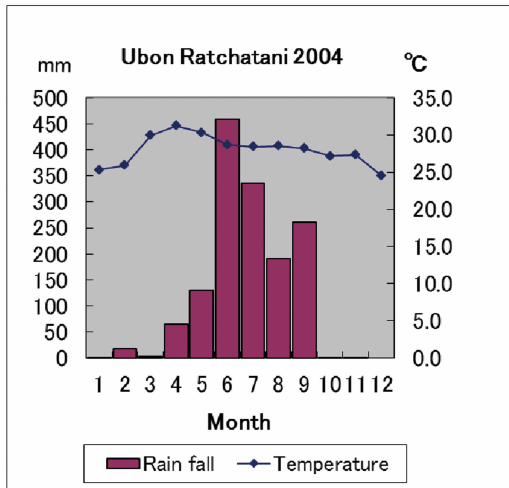
メコン河は、ヒマラヤ山脈の雪解け水から発生するが、中国の集水域からの水量は、メコン河流域全体の16%、ビルマで2%、以下、ラオス35%、タイ18%、カンボジア18%、ベトナム11%となっている（表）。

<自然と私たちの未来を考える～メコン河流域と日本～>

	中国	ビルマ	ラオス	タイ	カンボジア	ベトナム	合計
流域面積 (km <sup>2</sup> )	165,000	24,000	202,000	184,000	155,000	65,000	795,000
集水域 (流域比= %)	21	3	25	23	20	8	100
流水量 (流域比= %)	16	2	35	18	18	11	100

表 メコン河集水域に位置する6か国の比較 (MRC 2005: 1)

流域の気候は、熱帯モンスーン帯にあたる。5月中旬～10月に南西モンスーンが雨季をもたらし、11月～3月中旬には北東モンスーンの影響を受け、乾季となる。(MRC 2010: 14)。



乾季は4月ごろまで続き、5月ごろにふたたび雨が降って、雨季が始まる。中国部分をのぞき、4月前後がもっとも気温の高い時期となる。

降雨量は、東北タイのウボンラチャタニ県で年間約1,500mmに達し、東京とほぼ同じだが、雨は5月～9月に集中して降る(図2)。10月からはほとんど降雨がなく、翌年5月に雨季が始まる。同県を流れるムン川は、この降雨パターンの影響で、5月から水位を上げ、10月ごろに最高水位となり、11月～4月は徐々に水位を下げつづける。

図2 ウボンラチャタニ県の気温と降水量  
(タイ気象局同県支部 2004年データ)

メコン河の本流だけが、ヒマラヤの雪解けを受けて4月から水位を上昇させる。このような水環境の大きな変動は、メコン河流域に独特で多様な自然と生態系を育くむもととなっている。

<参考資料：英語>

Mekong River Commission (MRC) . 2005. Overview of the Hydrology of the Mekong Basin.

<http://www.mekonginfo.org/assets/midocs/0001968-inland-waters-overview-of-the-hydrology-of-the-mekong-basin.pdf>

Mekong River Commission (MRC) . 2010. State of the Basin Report 2010.

<http://www.mrcmekong.org/assets/Publications/basin-reports/MRC-SOB-report-2010full-report.pdf>

Peterson, B., and C. Middleton. 2010. Feeding Southeast Asia: Mekong River Fisheries and Regional Food Security. Berkeley, California: International Rivers (IR) .

Thompson, C. 2008. First Contact in the Grater Mekong. World Wildlife Fund (WWF) Greater Mekong Programme.

<参考資料：日本語>

国土交通省 (2006) 「河川事業概要：河川の現状と課題」

[https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet\\_jirei/kasen/gaiyou/panf/gaiyou2006/pdf/c1.pdf](https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/kasen/gaiyou/panf/gaiyou2006/pdf/c1.pdf)

国土交通省関東整備局利根川統合管理事務所 「日本の川にはどんな特徴があるの？」

<http://www.ktr.mlit.go.jp/tonedamu/tonedamu00082.html> (2012年9月30日閲覧)

(木口由香)

1. 以下、ブリーフィングペーパー (BP) を通して、「ビルマ」で統一した。